

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2370200475
事業所名	レジデンシャルケア徳川町

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 日頃から祭りなどの地域行事に参加して、地域の人との交流に努めたり、自治会の組長を引き受けたり、また、高校生や民生委員を含め、地域の人のボランティア受け入れもある。利用者も近隣のスーパーマーケットで買い物や喫茶店、ファミリーレストランで食事など地域との交流に努めており、幅広く地域に根づいている事業所である。東区いきいき支援センター主催の認知症家族の会に、管理者が講師として出席して、認知症のケアについて説明している。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 年6回開催している。会議は毎回議題を決めて意見交換をしている。その中で感染症対策や介護保険については、外部の講師を招き研修も行っており、職員も学ぶ機会となりサービスの質の向上につながっている。家族から議題を提供して頂いて意見交換を行い、疑問点や質問などにはその都度答えている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 市役所の担当者とは、利用者への対応の方法の相談をして助言を貰っている。他に介護保険制度の改正について、疑問に思う所を電話して聞いている。管理者は市主催の実践者研修の講師を引き受けるなど連携に努めている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 家族には利用者に関することをこまめに報告をして、納得がいくまで根気よく説明している。面会時、ケアプラン作成時に要望など聞く機会が多い。年1回は家族アンケートを実施しており、意見箱を設置している。主に家族からは気付いた点や感想が多く職員は真摯に受けとめて、事業所でできる事案については改善して必ず家族に説明している。毎月利用者の様子がわかる「いきいき日記かわら版」を発行して家族に送付している。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。